

市房 3 保護林の統合・拡大の検討について

- 市房 3 保護林周辺には隣接してまとまった天然林エリアが存在し、これらを含めることで生物群集保護林の設定要件の一つである300ha以上の面積の確保が可能であることから、3 保護林の統合及び周辺の林小班を含めた拡張について検討する。
- 今後拡張候補エリアにおいて植生調査等を実施し、保護対象樹種の生育状況や希少種の生息状況などを把握することで、保護林として、また生物多様性の観点から重要なエリアか否かについて判断する。

既設保護林（132ha）

名称	林小班	機能類型	代表樹種	面積 (ha)	林齢 (年)
市房ツガ	2029と	自然維持タイプ	モミ他	31.20	180
	2029か	自然維持タイプ	モミ他	36.76	160
市房モミ	2030ろ	自然維持タイプ	ツガ他	19.04	200
	2029ほ	自然維持タイプ	ケヤキ他	7.00	102
市房ゴイシ	2029へ	自然維持タイプ	ヒノキ他	4.50	53
	2029と1	自然維持タイプ	ツガ他	26.34	180
	2029ち	自然維持タイプ	アカガシ他	6.96	100
	2029ら	自然維持タイプ	他広葉樹	0.47	100

拡張候補林小班（289ha）

林小班	機能類型	代表樹種	面積 (ha)	林齢 (年)
2028よ	自然維持タイプ	広葉樹他	67.92	79
2029わ	自然維持タイプ	ツガ他	86.09	200
2029よ	自然維持タイプ	広葉樹他	21.96	160
2030い	自然維持タイプ	ツガ他	113.20	200

拡張した場合の保護林面積
421ha

市房 3 保護林及び拡張候補区域位置図

